

科目	数学研究	学年	第3学年	開講	通年	必修	3 単位
----	------	----	------	----	----	----	------

学習目標	微分法と積分法、ベクトルの考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。
------	--

教科書：「改訂版 最新 数学Ⅱ」「改訂版 最新 数学B」数研出版
副教材：「改訂版 3ROUND 数学Ⅱ+B」数研出版

学習計画及び評価方法

- a 知識技能
b 思考・判断・表現
c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点				
前期	微分法と積分法	指数関数	指数法則	・ 指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	4	中間	☐	☐	☐		
			指数関数とそのグラフ				☐	☐	☐		
		対数関数	対数				☐	☐	☐		
			対数の性質		5		☐	☐	☐		
			対数関数とそのグラフ				☐	☐	☐		
			常用対数				☐	☐	☐		
	微分法と積分法	微分法	平均変化率と微分係数	・ 微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	6		☐	☐	☐		
			導関数				☐	☐	☐		
			微分法の公式				☐	☐	☐		
			接線				☐	☐	☐		
			関数の増減				☐	☐	☐		
			関数の極大・極小				☐	☐	☐		
			関数の最大・最小				☐	☐	☐		
			方程式・不等式への応用		7	期末	☐	☐	☐		
							☐	☐	☐		
前期 授業評価											
後期	積分法	積分法	不定積分	・ 微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	9	中間	☐	☐	☐		
			不定積分の計算				☐	☐	☐		
			定積分				☐	☐	☐		
			定積分の性質				☐	☐	☐		
			面積				☐	☐	☐		
		数列	等差数列と等比数列		数列と一般項		・ 簡単な数列とその和および漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	10	☐	☐	☐
					等差数列				☐	☐	☐
					等差数列の和				☐	☐	☐
					等比数列				☐	☐	☐
					等比数列の和				☐	☐	☐
	数列	いろいろな数列	和の記号Σ	11	☐	☐		☐			
			階差数列		☐	☐		☐			
			いろいろな数列の和		☐	☐		☐			
	漸化式と数学的帰納法	漸化式と数学的帰納法	漸化式	12	期末	☐		☐	☐		
			数学的帰納法			☐		☐	☐		
						☐	☐	☐			
						☐	☐	☐			
後期 授業評価											

評価の観点

・ 数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしているかどうか。 ・ 事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決できるかどうか。

評価の決め方

○知識・技能：定期考查 ○思考・判断・表現：定期考查・レポート ○主体的に学習に取り組む態度：ワークショップ型授業・レポート
--